

技術	[REDACTED]	教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
東書					
1. 大阪市教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点					
<p>「リンク」、「他教科」等のマークが数多く使用されており、学習をさらに発展させたり、他教科と関連づけたりすることができるように工夫されている。生徒の主体的な学習機会が多く、「ものづくり(理工)分野」の生徒の興味・関心を高めさせるうえでも効果的な構成になっている。また、「技術の匠」などではいろいろな職業現場で働く方々の例が紹介され、伝統文化や技術の継承、職業観や倫理観が理解、育成できるように配慮がされている。《③・⑤・⑥・⑦・⑧・⑨》</p>					
2. 教育基本法に基づく観点					
<p>環境については生命を大切に自然、環境の保全が意識できるように、また、伝統文化においては伝統的な文化を尊重し、伝統から最先端技術へのつながりや応用が理解できるように内容が構成されている。さらに、モラルについては正義と責任、公共の精神が養えるように工夫されている。「環境」「伝統・文化」等のマークが効果的に活用されている。《③・⑤》</p>					
3. 学習指導要領に基づく観点					
<p>「基礎技能」のページが設けられ、実習・生活で実践するときに必要な基礎的な技能が確認できるよう配慮されている。また、学習の初めにできる簡単な活動例として「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合おう」「やってみよう」などが紹介され、基礎的・基本的な技能が身に付くよう配慮されている。「技術の天びん」マークを付して技術の評価・活用につながるよう記述されており、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てることに配慮されている。《①・②》</p>					
4. 外的要素に関する観点					
<p>印刷が鮮明で見やすいだけでなく、大判でレイアウトが工夫されているとともに、教科書のページが自然に閉じにくく扱いやすい。表紙が親しみやすくなっている。《①・②》</p>					
5. 構成・配列に関する観点					
<p>「技術分野のガイダンス」「本文の1編から4編」、「技術分野の学習を終えて」の6編構成になっており、それぞれバランスよく内容に偏りなく適切である。実習例では難易度が「☆」の数で示されており、生徒個々が自分の学習レベルに合った内容を選択できるよう配慮されている。《①・③》</p>					
6. 資料その他に関する観点					
<p>安全に関する学習に加え、危険予知の力を育めるように「技術室での作業例」などが配置されている。実習例が豊富で、「ものづくり(理工)分野」の生徒が高校に進学後も参考書として活用しやすいと思われる。ユニバーサルデザインの採用だけでなく、すべての生徒の色覚特性に適應するように作成されている。《①・②・③》</p>					

技術	[REDACTED]	教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
教図					
<p>1. 大阪市教育局基本条例・教育振興基本計画に基づく観点</p> <p>技術的説明や表記、時系列を追った実習例を配置するなど先端技術への興味・関心が高まるように工夫されている。チャプターでは「学習の目標」が明確に示されており、「まとめ」「章末問題」では学習内容を繰り返すことができるような構成になっている。《①・②》</p>					
<p>2. 教育基本法に基づく観点</p> <p>基本的作業手順の丁寧な記載だけでなく、技術・知識に加え、第一章では環境問題とリサイクル、第二章では最新技術やエネルギー問題、第三章では生物育成を通じた生命・自然の大切さ、第四章では情報モラルなど、それぞれの章で特色のある記載をすることで創造性、勤労観や職業観の育成、環境の保全に寄与する態度の育成ができるよう配慮されている。《①・②・④》</p>					
<p>3. 学習指導要領に基づく観点</p> <p>製作のページを多く採用することで写真を使った実習・実践の内容が多く、基礎的知識や技術力が身につけやすいように工夫されている。「安全」や「注意」のマークが各所に配置されており、安全のための心がけや安全のために気をつけることが分かりやすく、事故防止に留意できるよう工夫されている。《①・⑥》</p>					
<p>4. 外的要素に関する観点</p> <p>大きな写真を多用することで、視覚で理解しやすいように工夫されている。また、全体としてユニバーサルデザインを考慮している。《②・③》</p>					
<p>5. 構成・配列に関する観点</p> <p>生徒の発達段階に合わせ、導入から基礎的・基本的な内容、実習題材、まとめ、章末問題へと系統的に学習しやすいように配慮されており、自学自習のしやすさも考慮されている。全体としてバランスよく調和がとれており、分量も適度である。《①・③》</p>					
<p>6. 資料その他に関する観点</p> <p>実習題材は合計で19種類紹介されており、いずれも大きな写真と手順を記載している。また実習のレベルに合わせ「実験」「実習」を使い分けていることも体験学習をすすめる上では有効であると思われる。安全マークや注意マークを付したり本文を太文字にしたりすることで事故防止に留意して授業展開ができるように配慮されている。《②・③》</p>					

技術	[REDACTED]	教科用図書選定にかかる学校調査会調査用紙	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
開隆堂					
1. 大阪府教育行政基本条例・教育振興基本計画に基づく観点					
<p>全体的に、環境面に配慮した構成となっている。また、情報の内容では、ネットワークの危険性、個人情報や知的財産の保護の重要性などの記述が充実しているとともに、情報モラルの向上や個人情報の保護等、道徳心の育成について配慮されている。各ページの右上に小さく技術に関する機器の写真が掲載されており、生徒の興味・関心を高め、自ら調べる力を育む工夫がなされている。《③・④・⑧・⑨》</p>					
2. 教育基本法に基づく観点					
<p>各章の冒頭に学習内容に合わせた歴史年表が付され、技術の発達や先人たちの努力・知恵がよくわかる構成となっており、伝統や文化にも興味・関心が持てるように配慮されている。技術と環境問題についての記載が多く、生命・自然を大切に、環境保全に寄与する態度が育てられるような配慮がなされている。表紙を含め、学習内容とリンクする職業を紹介する写真が掲載されており、職業観、勤労観の育成ができるよう工夫されている。《②・④・⑥》</p>					
3. 学習指導要領に基づく観点					
<p>「考えてみよう」「調べてみよう」「小課題」「リンク」「実験」などのマーク配置が随所に見られ、授業以外にも各自での自学自習を助ける工夫がなされている。さらに、「参考」「探求」「発展」「豆知識」に関しては、自ら進んで工夫し創造する力を伸長させることができるように配慮されている。《①・②》</p>					
4. 外的要素に関する観点					
<p>ユニバーサルデザインを取り入れ、すべての生徒の色覚特性に適合する配慮がなされている。写真はコントラストが強くインパクトを与え、イラストはやわらかい色彩を用いて親しみやすく工夫されている。《①・②・③》</p>					
5. 構成・配列に関する観点					
<p>生徒の興味関心を引くように、写真やイラストが多用されている。各章それぞれ内容の比重が偏ることなく、適切に配分されている。「話し合ってみよう」、「考えてみよう」、「調べてみよう」が随所に配列され、問題解決的な学習の充実が図れるように工夫されている。《①・②・③》</p>					
6. 資料その他に関する観点					
<p>図表、さし絵、写真などは正確、的確である。とくにソフトウェアに関しては、新しい写真や図表を掲載している。実習例は作業をしている生徒の視点から見た写真や図を効果的に利用している。《①・②・③》</p>					